

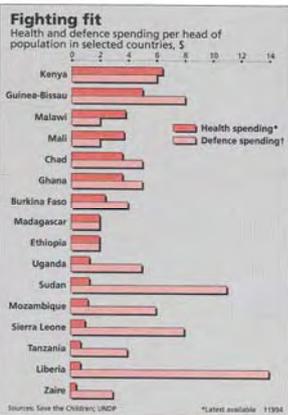
業務連絡

1

## 第9週 アフリカ2:内戦とエイズ

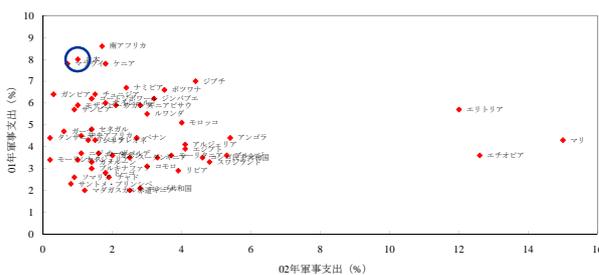
2 地誌学I ポスト911世界の新地政学

### 内戦とエイズ:医療支出と軍事支出



3

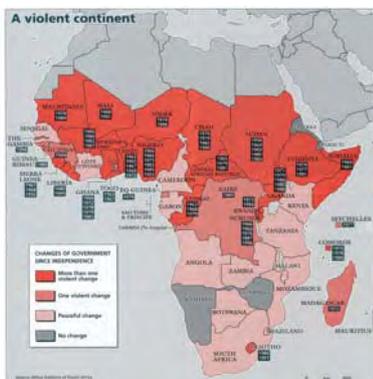
アフリカにおける対GDP軍事・医療支出



<http://dataranking.com/>

4

### クーデターの発生地帯



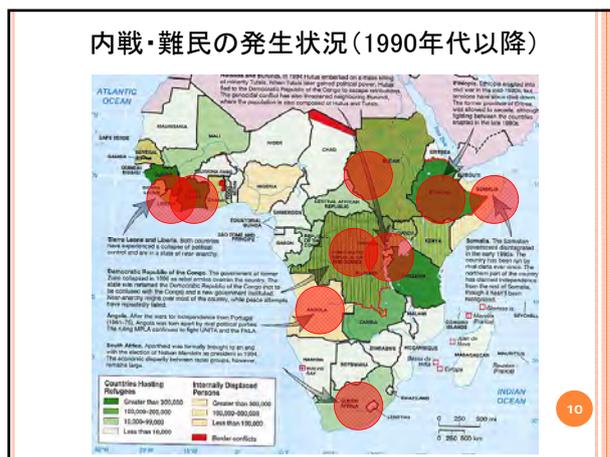
### 旧植民地主義によるアフリカの分割





- **難民とは**
  - 人種・宗教・政治的意見の相違などによる迫害を避けるために国内外に逃れた者
  - アフリカは世界でも1、2の難民発生地域
- 世界でUNHCRの援助対象者: 約1920万人(2005年)、うちアフリカの援助対象者: 約455万人
  - 難民: 275万人
  - (元)国内避難民: 123万人
  - 帰還民: 33万人
- OAU(アフリカ統一機構、現アフリカ連合AU)は「難民の入国拒否・強制送還・追放を禁止する」原則を明示

- 難民流出の原因
  - 内戦、強権政治、人種差別、民族対立などによる人権抑圧
  - 内戦によりルワンダ、シエラレオネ、ブルンジ、アンゴラ、コンゴ民主共和国などから大量の難民が発生(90年代後半)
  - 旱魃によりサヘル地域から南部アフリカにいたる広範囲で多数の飢餓難民(80年代前半)



- ### スーダン・ダルフール危機
- 1821年: 北部=エジプト・イギリスの征服
  - 1883年: イスラム国家建設(マフディーの乱)
  - 1899年: エジプト・イギリス共同統治
  - 1924年: 南北分断、北部から独立運動
  - 1955年: 北(イスラム・アラブ系)南(アフリカ系)内戦
  - 1956年: 独立
- 
- <http://ja.wikipedia.org/wiki/>

- ### 南北内戦
- 第一次内戦(1955~74年)
    - 1961年: 陸軍クーデター、1971年クーデター首謀者(ヌメイリ)が大統領に
  - 第二次内戦(1983~2005年)
    - 1983年: ヌメイリ大統領によるイスラム法導入に対し南部アフリカ系ゲリラが反発→内戦に
    - 1984年: 旱魃とエチオピアからの難民流入で政局不安定化
    - 1985年: クーデターで政権交代
    - 1989年: 軍部無血クーデター、イスラム化進行
    - 1998年以後: 民主化(新憲法、複数政党制、大統領国民選挙)
    - 2002年: 米国・周辺国家の仲介で和平開始、2005年南北和平
    - 2010年: 南部独立選挙予定

### ダルフル危機

- 2003年：南北内戦の休戦交渉に不満を持つ**反政府勢力2派(非アラブ系)**が西部ダルフル地方で武装闘争
  - 政府は地方の**アラブ系民兵組織(ジャンジャウィード)**を使い反撃
  - 対立勢力双方が民間人虐殺・略奪・強姦→人道的危機に
  - 国内避難民180万人、難民20万人(2006年)
  - 隣国チャドに内戦が波及
  - 2004年から06年まで9回の国連安保理決議(スーダン政府への制裁とAUなどによる停戦努力)
- 2005年～：停戦・和平プロセス

13



14

<http://www.unsudanig.org/photos/>



15

<http://www.unsudanig.org/photos/>



16

<http://www.unsudanig.org/photos/>



17

<http://ja.wikipedia.org/wiki/>



18

<http://www.unsudanig.org/photos/>

国内経済への影響

- 20年に及ぶ内戦、西側諸国からの経済援助停止、累積債務等→経済疲弊
  - 1990年代前半は年率150%に及ぶインフレ
  - 生活物資や電力の不足が恒常化
  - 1996年からIMFのプログラムを受け入れ経済再建
- GDP は6.0%以上の高成長(2004年)
  - 都市部での建設需要の増大と30万B/Dの生産量と原油価格の上昇による石油収入
  - 石油収入は2004年国家予算の一般歳入の60.8%、貿易収支は90年から98年にかけて赤字幅が増大、石油の輸出は04年の総輸出額の78.3%、貿易収支の改善に貢献
  - 石油の生産量は、2006年末には50万B/Dに達する見込み→日本や中国を含むアジア諸国を中心に輸出
- 地方の社会資本未整備、国際人道支援不可欠(特にダルフル地方)

19

国際社会の関心

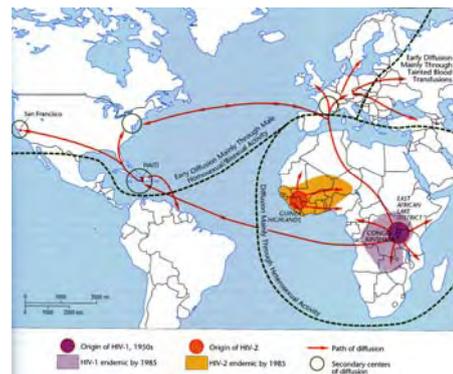
- ソマリアPKO失敗(1993年)、ルワンダ虐殺の黙殺(1994年)→人道介入への反省
- 2004年から国連、英米およびEUがスーダン政府に圧力
- 中国(およびロシア)が制裁に消極的→スーダンに石油権益
  - 2007年に欧米政府・議会が中国に対応要請→アフリカの政治経済に中国の影響力が拡大
- 日本の対応
  - スーダンへのODA再開、ダルフルへの人道支援(政府)、治安活動支援(民主党)

20

エイズ  
国家破綻のもう一つのシナリオ

21

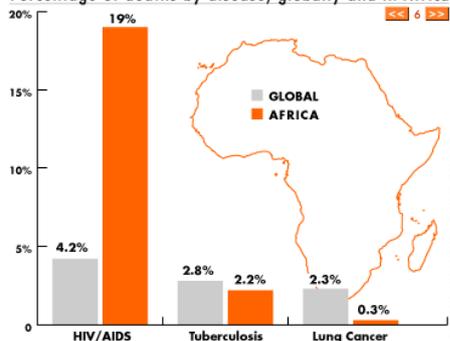
エイズの感染ルート



22

エイズによる死亡率の格差

Percentage of deaths by disease, globally and in Africa

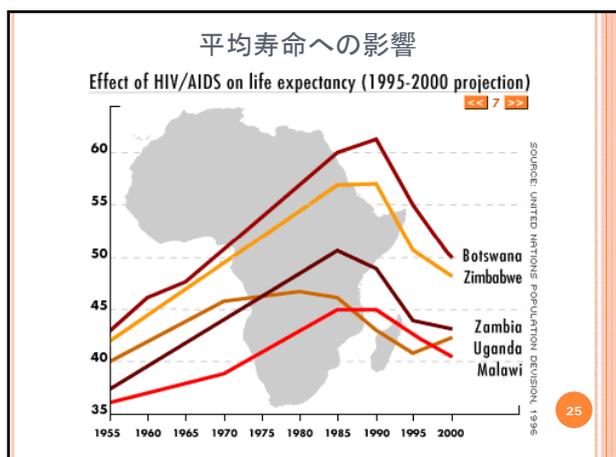


23

エイズ感染率の分布(1990年代)



24



- エイズ関連統計(1999年段階)
    - 1999年のエイズ感染者540万人中  
アフリカに400万人が集中
    - 1999年のエイズによる死亡者280万人中  
アフリカに85%が集中
    - エイズで両親を亡くした孤児1320万人中  
1210万人がサハラ以南に集中
    - 2005年から2010年の間平均寿命は  
サハラ以南では59歳から45歳に  
ジンバブエでは61歳から33歳に低下
    - 1999年の母子感染によってエイズにかかった50万人を超える赤ちゃんのうち  
ほとんどがサハラ以南に集中
- 26

アメリカ合衆国統計局の試算では  
2010年までにサハラ以南のアフリカでは人口が  
7100万人減少するであろうとのこと

エイズの治療法は進歩しているのになぜ食い  
止められないのか？

27

- 政策の誤り  
エイズの脅威への無理解、他の(開発)政策に執着  
(1959年ベルギー領コンゴで発見)  
有効な薬(AZT)を導入せず、エイズ対策に適切な人材を  
登用しなかった(南アフリカ)
  - 貧困  
「高額」なエイズ治療薬、貧困による売春、医療体制の  
不備(注射針等からの感染)
  - 無知  
エイズや安全なセックスに対する理解不足  
学校・社会教育の不備(低い識字・就学率)
- 28

- 性習慣  
不特定多数との性交渉  
性的関係における男性優位(避妊具着用・検査忌避)  
セックスについて語るのがタブー
  - 差別  
HIV・エイズ感染者への辛らつな差別
  - 経済活動  
都市(出稼ぎ)労働者、性労働者に高い感染率
  - 戦争  
出征兵士を介した感染の拡大
- 29

- 結果  
国民一人当たり所得の激減(マイナス20%)  
生産年齢人口の激減(若・中年層の感染)  
保護されない孤児の増加  
国家や企業の医療費負担増大  
高感染率国(スワジランド=39%、ボツワナ=37%)  
↓  
国家経済・財政・社会破綻=国家破綻  
↓  
グローバルな国際問題に

○ 対策

- ・ワクチン開発が進むまで有効な予防措置をとる→**コンドーム**使用による**ウガンダ、セネガル**の成功例
- ・安価な**ジェネリック (ARV=抗レトロウイルス) 薬**の導入
- ・エイズ対策予算への国際的補助 (**UNAIDS: 国連共同エイズ計画**)→現在80億ドルの規模に
- ・「開発」を逆行させない複合的取り組み→**衛生問題を越えて、経済(雇用)・教育(啓発)対策とのリンク**

エイズ孤児たちとその祖母(マラウイ)



UNICEF/0-11/0/G. RINDREDO

小学校でのHIV/AIDS教育(ジンバブエ)



UNICEF/MICHEL SZULC-KRYZANOWSKI

街角での啓発運動(モザンビーク)



UNICEF/BENNO NEELEFIND

医療施設での検査、治療、啓発(ケニア)



UNICEF/ALISA TRAYLOR

コミュニティセンターでのエイズ啓発活動(ケニア)

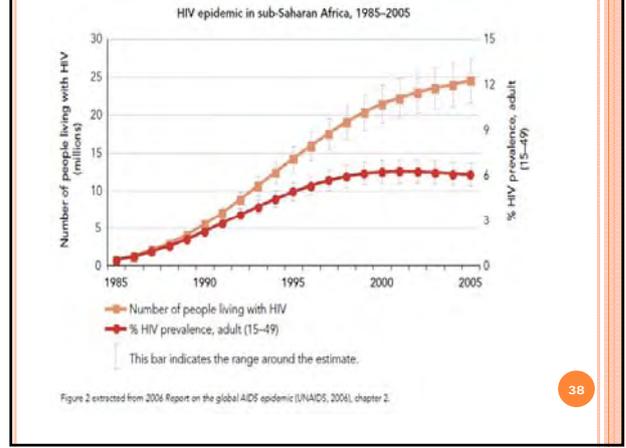


UNICEF/H036-1413/GIACOMO PIPOZZI

エイズ啓発のパフォーマンス(ザンビア)



UNICEF/HQ/S-103/01/001010\_PIR02001



38

FIGURE 4 People in sub-Saharan Africa on antiretroviral treatment as percentage of those in need, 2002-2005

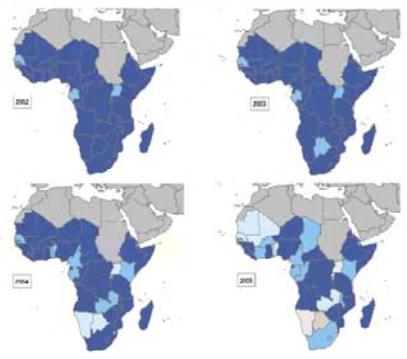


Figure 4 extracted from 2006 Report on the global AIDS epidemic (UNAIDS, 2006), chapter 7

39

FIGURE 5 Estimated total annual resources available for AIDS, 1996-2005

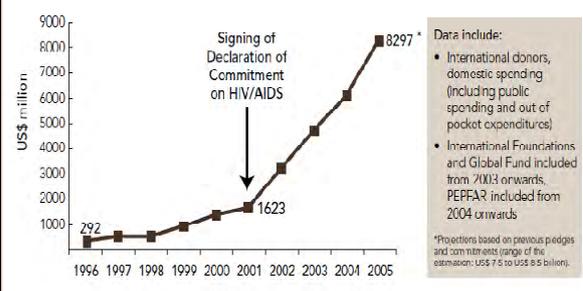


Figure 5 extracted from 2006 Report on the global AIDS epidemic (UNAIDS, 2006), chapter 3.